

令和4年度 ICTを活用した自立活動の効果的な指導の在り方 調査研究

研究仮説

- ・ Webフォームやアプリケーションを活用して実態把握を「見える化」することにより、自立活動の効果的な指導方法を示すことができるのではないか。
- ・ ICTの「保存性」「数値化」「即時性」「双方向」等の良さを生かすことで評価と指導の一体化を図ることができるのではないか。

研究目的

- ・ 学習上又は生活上の困難さの改善と克服のための、アナログ・デジタル双方からのアプローチの充実
- ・ 実態把握の見える化とそれによる効果的な指導法による学びの充実
- ・ 遠隔による自立活動の指導への相談支援の機会の確保
- ・ 自立活動の多様な指導の実践と担任等の指導力・資質の向上

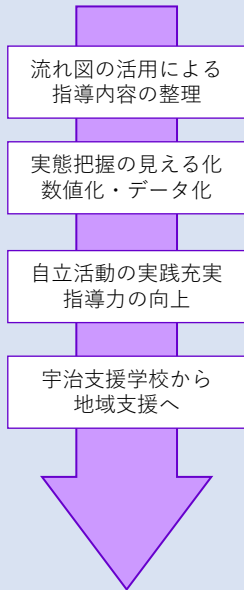
研究課題

令和3年度の課題

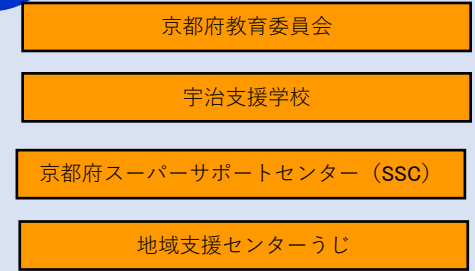
- ・ 学校全体としての自立活動の実践力の向上
- ・ ICT教材やアプリケーションを活用した実態把握等見える化実例の蓄積と更なる活用
- ・ 通信環境・端末等の違いに応じた支援の在り方やデータ共有システムの整理

研究内容

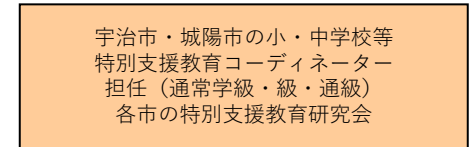
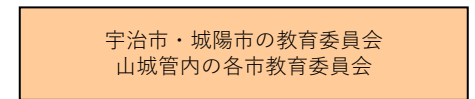
項目	取組内容（本校）	取組内容（地域支援）
①遠隔でのやりとりを含めた、児童生徒の実態把握の在り方の研究	<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報端末やアプリケーションを参考にした実態把握と、実態の即時的な見える化 ・ クラウド上でのデータ管理 ・ 根拠に基づいた個別の指導計画の作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・ Webフォームを活用した実態把握、指導計画の作成、各障害に応じた指導方法の改善のためのアンケート調査と分析 ・ 「流れ図」を活用した自立活動の指導計画作成における活用法の整理
②自立活動や通級による指導について、遠隔による実施を含めた指導及び評価の在り方の研究	<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報端末やアプリケーション等を活用した変容の数値化やデータ化、及び評価データの集積と解析 ・ 不登校の児童生徒における、orihime等を活用した遠隔においても可能な自立活動の指導 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 障害に応じた自立活動の指導の指導者支援パッケージの作成 ・ 1人学級をサポートするTeamsアプリケーションを活用したネットワークづくりとそれを活用した助言と支援
③遠隔でのやりとりを含めた、外部の専門家や在籍学級担任等との連携の在り方の研究	<ul style="list-style-type: none"> ・ 遠隔での連携の利点と課題の整理 ・ 遠隔による相談支援の実施に必要な環境整備の分析 ・ 外部専門家との連携や会議におけるICTを活用した実践事例の蓄積 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自立活動支援担当と連携した、遠隔による自立活動に関わるセンター的機能の在り方整理 ・ 視覚・聴覚障害等の特別支援学級における遠隔による各障害種の指導者間交流や研修の実施



研究組織



連携・協働



京都府内全域へ

